

<概要>

- 海運事業者のニーズを踏まえ、夜間、安全にLNG燃料船への燃料供給（バンカリング）を行うことができるようにすべく、昨年度、「LNG移送のオペレーションガイドライン・マニュアル」の見直しのため、「LNG燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施に向けた検討委員会」を設置。
- 委員会において、操船シミュレータによる検証を行い、夜間のバンカリング実施にあたって必要な気象海象条件等を追加する改訂を実施。



Ship to Ship

主な改訂内容

検討委員会

項目	改訂前	改訂後
夜間バンカリング		
(バンカー船の接舷条件)	未設定	<ul style="list-style-type: none"> ・気象海象条件 <ul style="list-style-type: none"> - 風速8m/s以下 - 波高1m以下 - 視程500m以上 ・船長は、昼間での接舷操船経験を少なくとも1回以上有すること。 ・夜間の手順をまとめたマニュアル整備 等
(照明の明るさ)	70lx以上	75lx以上(推奨100lx以上)
安全管理体制	緊急時に備えた事前の防災体制構築方法について具体の記述無し	<ul style="list-style-type: none"> ・消火体制、防災体制の構築 ・消防船等の配備状況の把握 ・事前の情報共有、緊急連絡体制の確保 等

<有識者>

九州大学
海上保安大学校
日本海事協会
海上技術安全研究所

<関係業界>

日本船主協会
日本水先人会連合会
日本造船工業会
日本中小型造船工業会
日本内航海運組合総連合会

<関係省庁>

国土交通省海事局、港湾局
経済産業省産業保安グループ
海上保安庁警備救難部、交通部



昼間のシミュレーション



夜間のシミュレーション